

広報 ひろば **たいせつ**

12月号目次

- P 2～3 … 平成30年産 米の作柄と次年度に向けて
- P 4 …… 主要野菜の生育経過と病害虫の発生状況について
- P 5 …… J Aグループ通信
- P 6～7 … 第29回 J A北海道大会開催
- P 8 …… たいせつHOTニュース
- P 9 …… メカニックセンターからのお知らせ
- P 10 …… 金融課からのお知らせ(貯金)
- P 11 …… 金融課からのお知らせ(融資)
- P 12 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ
たいせつ農産物直売所からのお知らせ



11月15日に上川地区 JA 青年部大会が開催され、16区外川 光さん(写真下段左から3番目)が活動実績発表において最優秀賞を受賞し12月6～7日に行われる全道大会に出場することとなりました。

平成30年度産

米の作柄と次年度に向けて

上川農業改良普及センター

1 水稻の生育経過 (表1)

表1 作業期節と生育期節の推移 (普及センター生育調査ほ)

作業期節等	H30	平年	遅速	
融雪期	4/7	4/10	早3	
耕起最盛期	4/30	5/3	早3	
は種	始	4/16	4/16	±0
	期	4/19	4/21	早2
	終	4/25	4/25	±0
移植	始	5/17	5/19	早2
	期	5/21	5/24	早3
	終	5/28	5/29	早1
収穫	始	9/21	9/16	遅5
	期	9/27	9/23	遅4
	終	10/7	10/4	遅3

生育期節	H30	平年	遅速	
出芽期	4/24	4/26	早2	
活着期	5/26	5/27	早1	
分げつ始	6/1	6/2	早1	
幼穂形成期	6/28	6/26	遅2	
止葉期	7/15	7/12	遅3	
出穂	始	7/22	7/20	遅2
	期	7/26	7/24	遅2
	揃	7/30	7/28	遅2
成熟期	9/17	9/11	遅6	

注) 成苗ポット ななつぼし

(1) 融雪期とほ場の乾燥化、耕起作業
融雪期は平年より3日早い、4月7日となりました。
融雪後、4月下旬の好天によりほ場の乾燥が進んだため、耕起作業は最盛期で平年より3日早い4月30日となりました。

(2) は種・移植期

は種作業は、は種始で平年並の4月16日、は種期は平年より2日早い4月19日となりました。また、出芽期は平年より2日早い4月24日となりました。

育苗期間(は種期・移植期)は平年より1日短い32日となりました。

移植時苗質は5月中旬の高温により草丈が平年よりやや長く15.3cm、葉数は平年並の4.4葉、茎数は平年並、乾物重は平年よりやや軽く、苗質は平年並となりました。

移植作業は5月3半旬以降の好天により、移植期は平年より3日早い5月21日となりました。

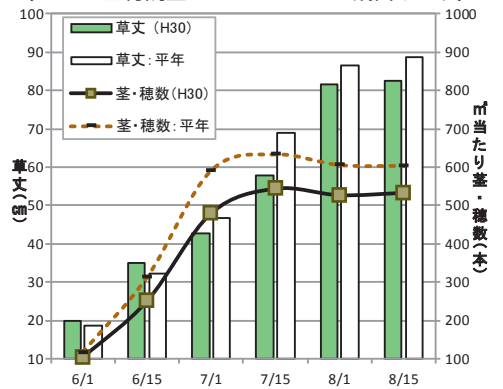
(3) 移植後の茎数の推移

6月2半旬より低温・寡照が続き生育は停滞しました。

このため、m当たり茎数は6月15日現在で251本(平年比80%)、7月1日現在で480本(平年比81%)となりました(図1)。

また、7月上旬も低温・寡照は続き、7月15日現在のm当たり茎数は544本(平年比86%)、最終的なm当たり穂数は533本(平年比88%)となりました。

図1 草丈(左縦軸)・茎数(右縦軸)の推移 (H30 生育調査ほ、ななつぼし、成苗ポット)



※茎・穂数(本/m²)
: 8月1日まで茎数、8月15日から穂数

(4) 幼穂形成期・出穂期・開花期間

幼穂形成期は平年より2日遅い、6月28日となりました。

幼穂形成期後、前歴期間および冷害危険期間である6月下旬、7月上旬は低温・寡照で経過しました。前歴期間の平均気温は17.5℃、冷害危険期は19.5℃となりました。このため、稔実歩合は92%(平年比96%)となりました。止葉期は7月15日で平年より3日遅れ、出穂期は7月26日で平年より2日遅れとなりました。出穂期間は平年並の8日間となりました。

(5) 登熟期間

開花受精以降、登熟期間初期の7月6半旬は一時高温で推移しましたが、登熟期間中期の8月は総じて低温・寡照で推移しました。また、9月は平年並の気温となったものの、出穂期から成熟期までの登熟期間は平年より4日長い53日間を要しました。

(6) 収穫期間

収穫期間は9月5半旬と10月1半旬に一時降雨があったものの、順調に作業が進められ、収穫終は平年より3日遅い10月7日となりました。

(7) 収量構成要素・決定要素

普及センター生育調査における「ななつぼし」を平年と比較すると、m当たり穂数は少なく、一穂粉数は平年並、m当たり総粉数はやや少なくなりました。稔実歩合はやや少なく、m当たり稔実粉数は少なくなりました。千粒重は23.1gで、等級は1.3等となりました。

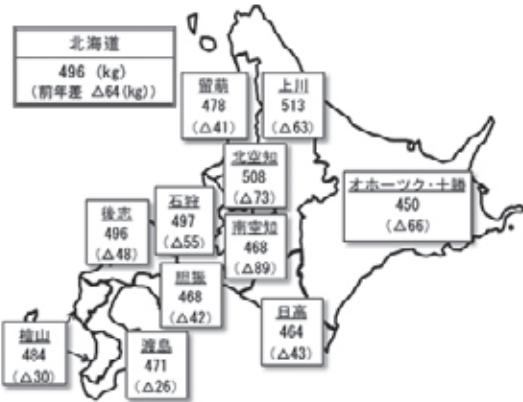
「ゆめぴりか」も同様の傾向で

表2 収量構成要素 (普及センター生育調査ほ)

品種	年次	穂数(本/m²)	一穂粉数(本/穂)	総粉数(粒/m²)	稔実歩合(%)	精玄米重1.9mm上(kg/10a)	屑米重(kg/10a)	千粒重(g)	割粉(%)	等級
ななつぼし	H30	533	59.6	31,640	92.1	594	37	23.1	34.9	1.3
	平年	603	58.2	34,929	95.4	668	31	22.4	28.9	-
	平年比	88	102	91	97	89	119	103	121	1.2
ゆめぴりか	H30	561	49.3	27,473	92.8	561	36	23.4	25.0	1.5
	平年	690	48.8	33,672	94.0	635	36	23.1	16.2	1.2
	平年比	81	101	82	99	88	100	101	154	-

*千粒重の篩目は、1.9mm

図2 水稻の作柄表示地帯別 10a 当たり収量
(農林水産省)



注：10a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

表3 北海道における玄米品位の状況
(H28～30 北海道農政事務所)

区分	整粒	未熟粒	乳白粒・ 腹白粒①	被害粒	死米・ 着色粒②	①+②
H30	64.9	29.0	3.7	6.2	1.0	4.7
H29	66.9	28.7	5.1	4.5	1.2	6.3
H28	70.7	25.0	5.6	4.4	1.2	6.8

※ふるい目幅 1.85mm 以上

単位：%

2 作柄の概況 (農林水産省より、10月15日現在)

北海道の水稻作柄は、6月中旬から7月中旬の低温・寡照の影響により、穂数が少なくなった結果、全籾数は「少ない」となりました。8月中旬から下旬にかけて低温・寡照で経過したものと

あり、m²当たり穂数とm²当たり総籾数が平年より少なくなりました(表2)。また両品種とも平年よりも割籾が目立ちました。

(8) 病害虫の発生状況
本年は「紋枯病」や「アカヒゲホソミドリカスミカメ」、「いもち病」の発生が一部でありましたが、適正な防除の実施により大きな被害とはならず、アカヒゲホソミドリカスミカメによる斑点米の発生は散見される程度でした。

(2) 玄米品位の状況

北海道の整粒割合は、過去3カ年で最も低い64.9%となりました。未熟粒(青未熟粒・乳白粒・腹白粒)の発生重量割合は29%、被害粒は6%と前年より多くなりました(表3)。

(1) 上川管内の水稻収穫量

上川管内の予想収量は513kg/10a(作況指数90)の「不良」となりました。(全国の水稻予想収量は529kg/10a(作況指数99)の「平年並み」)

の、9月上旬以降は天候が回復したことから、登熟は「平年並み」となりました。その結果、10a当たり予想収量は、496kg/10a(作況指数90)の「不良」(前年に比べて64kg減少)と公表されました(図2)。

3 次年度に向けて

天候不良な年こそ、以下の基本技術を実施しているかが収量・品質の良否に大きく影響しますので、栽培管理を見直しましょう。また、基本技術が未実施の場合は、その原因を冬期間に分析し、実行できるように計画を立てましょう。

(1) ほ場の乾田化

ほ場を早く乾かすことで、乾土効果により、水稻の初期生育が向上します。そのため、溝切り、収穫後の溝掘り、心土破砕による融雪停滞水の排除と融雪剤の適期散布(旭川アメダスの数値では3月中旬が目安)により、ほ場の乾燥化を促進させましょう。

(2) 施肥設計の検討

土壌分析を実施し、診断結果やほ場毎の生育状況の記録を基に施肥設計を行いましょう。適正施肥を実施し、穂揃いの悪化や過剰な籾数による品質低下を防ぎましょう。

初期生育が劣るほ場では側条施肥の導入や側条施肥割合を増やす事で、初期生育改善を検討しましょう。

(3) 健苗育成

活着・初期生育の促進や老化学防止のため、健苗育成を目指しましょう。健苗育成に向けて、ハウスの早期設置を行い、床土の乾燥と地温上昇に努めましょう。育苗期間中はどの品種でも2.5葉期以降は25℃以上の高温にならないように注意しましょう。

また、中苗マットでは極端な厚播を

避けましょう。(150～200mlが適切)

(4) 適期移植

早めのほ場準備を行い、5月25日までに移植作業が終わるは種・移植計画を立てましょう。特に、後半には種した苗は育苗日数が30日未満でも移植に十分な葉齢になることが予想されますので、例年の状況を踏まえて、は種時期を遅らせて健苗の移植を計画しましょう。

(5) 適正な栽植密度・植え付け深さ

栽植密度を高めることで、収量・品質の安定化を図りましょう。成苗では22～25株/m²、中苗では25株/m²以上が目安です。また、移植時の植え付け深さは1.5～2cmとしましょう。3cm以上の深植えは生長点の地温が低く、苗代分けの枯死や分けつ抑制につながります。

(6) 分けつ期の水管理

低温・強風時以外は浅水管理(1～3cm程度)で水温・地温の上昇を図り、分けつを促進させましょう。確実に浅水管理を実施するためには、ほ場の均平が重要です。


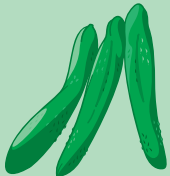




(7) 幼穂形成期以降の水管理

冷害に備え、前歴期間および冷害危険期では、幼穂長に合わせた深水管理に努めましょう。深水管理は、遅れ穂の抑制にも有効です。また深水管理後は根に酸素を供給するため、中干しを実施しましょう。

適正な深水管理ができるように、必要であれば畦畔の補修をしましょう。

JAたいせつ

平成30年度主要野菜の生育経過と 病害虫の発生状況について

	■ 生育経過 ■	■ 病害虫発生状況 ■
原料トマト 	<p>5月までは天候に恵まれ、融雪・育苗・定植と順調に進み、生育についても平年並みに推移したが6月からの低温と日照不足の影響により生育が遅れた。また、7月中旬以降の高温により花落ちが発生し、収量は昨年を下回る結果となった。</p>	<p>定植後6月以降の降雨の影響で防除のタイミングが難しく葉かび病や灰色かび病の発生が多く見られ、収量減の大きな原因となった。アブラムシ・オンシツコナジラミの発生は一部見られたが、大きな被害とはならなかった。</p>
きゅうり 	<p>定植後、5月までは天候に恵まれ順調に推移したが、6月から7月にかけての大雨・天候不順の影響で収穫ピークがなく、8月以降も降雨・日照不足の影響により肌白や奇形果が発生し、出荷量は例年を下回る結果となった。</p>	<p>低温の影響もあり、7月上旬頃までは菌核病の発生が見られた。7月中旬以降はべと病・うどんこ病・褐斑病・害虫の発生が見られ、ハダニ・アブラムシの発生も多く見られた。天候不順の影響により防除やかん水作業などの管理が難しい年となったが、生産者の努力により被害は最小限に留まった。</p>
ししとう なんばん 	<p>定植時期の4月下旬～5月下旬までは天候に恵まれたが、6月中旬からの低温と日照不足の影響で生育が停滞した。7月以降も不安定な天候が続いたが、出荷量はある程度回復し前年度と同水準の出荷量となった。</p>	<p>8月中旬頃より一部圃場でアブラムシ類の発生が見受けられたが、生育に大きな影響はなかった。 一部で青枯病の発生も見られ、接ぎ木苗による対策が必要なほ場が増えてきている。</p>
いちご (けんたろう) 	<p>融雪以降、日照不足が続いたが収穫開始は例年と同時期だった。最盛期である6月も中旬以降の低温・日照不足の影響を受け、収量は昨年を下回った。収穫時期は例年より長期化した。</p>	<p>収穫期の6月頃は、圃場によりハダニ類・アザミウマ類の発生が見られた。</p>
たまねぎ 	<p>定植は平年並みに始まり、6月初めまでは好天と適度な降雨で順調に生育が進んだものの、それ以降の低温・日照不足と7月上旬の降雨の影響により葉先枯れが発生し球の肥大も遅れるなど、全体的に小玉傾向となり収量は減収した。</p>	<p>近年発生の見られなかった白斑葉枯病の発生が多く見られた。ネギハモグリバエや小菌核病の発生等防除が必要な病害虫も増えており、今後も注意が必要である。</p>
アスパラ 	<p>(ハウス) 4月上旬は低温で推移したが例年と同時期に出荷開始となり、中旬以降は天候も回復し出荷は順調に推移した。 (露地) 6月中旬から7月中旬にかけての低温・日照不足により、萌芽が促進されず収量については低調に推移し、収穫終了もやや早まった。 (全体) ハウス・露地を合算した最終的な収量は例年を下回る結果となった。</p>	<p>斑点病の発生は少なかった。一部でヨトウムシ・カメムシ類の発生が見られた。</p>

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおピックアップなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

JA北海道中央会



11月13日、JAグループ北海道の役員はじめ約2400名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン「北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。

決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。



JA北海道信連



9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさつばろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになつたみたい」とお札の束を広げる子も…。

未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思います。



ホクレン



北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年にはJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。



JA共済連北海道



10月27日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さつばろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様方の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



第29回JA北海道大会開催

北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」

平成30年11月13日(火)札幌コンベンションセンターにて開催された第29回JA北海道大会に、全道

からJAや連合会の役員、青年部・女性部の部員等約2,400名が参加しました。JAたいせつ

からは、松原組合長をはじめとする役員、青年部、女性部の代表ら19名が参加しました。



大会に先立ち、JAグループ北海道が提供する「あぐり王国北海道NEXT」の放送500回記念プレゼンテーションが行われ、この番組に出演されている森崎博之さんより、これまでの活動に対する振り返りを軽妙な語り口でお話しいただき、最後には「これからも北海道農業を応援し続けていきます！」との力強いお言葉をいただきました。

続いて、新たな協同組合の価値創造をテーマに北海学園大学の宮入教授がコーディネーターを務



め、日本協同組合連携機構の青竹常務、農林中金総合研究所の行友特任研究員、JA北海道中央会の小野寺副会長らでパネルディスカッションが行われました。組合員との関係強化や、協同組合間の連携について、多様化する組合員にあった活動の手法や、他の協同組合との交流意義などが話し合われ、最後にコーディネーターの宮入教授より、「協同組合に集まるからこそ出来る事を整理する事が新たな価値創造につながる」とのまとめのお言葉をいただきました。その後、本年9月に発生し、甚大な被害をもたらした胆振東部地震による多くの犠牲者の方に対し、参加者全員による黙とうがささげられ、大会開始の運びとなりました。

議案提案

議案第1号は、「協同の力で『農業所得の増大』と『多様な担い手の確保・育成』を実現」とし、基本目標1 農業所得の増大に向けた取り組みの加速では、重点取組事項として、①収益向上に向けた取組②基本技術の励行と新技術の導入によるトータルコスト低減の実践③JAグループ北海道 食の安全・安心宣言の実践とし、また、基本目標2 担い手を育み支える地域活動の実践では、重点取組事項として、①担い手の確保・育成に向けた取組の加速②持続可能な農業生産に向けた労働力確保の実践に取組む事について提案されました。

議案第2号は、「次代につなげる協同組合の価値と実現」とし、基本目標1 時代に即した協同組合の価値創造では、重点取組事項として、①協同組合理念の理解浸透と人・組織づくりの実践②協同組合理念に基づく事業運営③地域の課題解決に向けた協同組合間の連携強化とし、また、基本目標2 食と農でつなげるサポーター1550万

人づくりの拡充、その重点取組事項として、①協同活動を核とした准組合員との関係づくり②関係・交流するサポーターづくりへの展開を進める事について提案され、それぞれ原案どおり承認されるとともに、次の「大会決議事項」及び「特別決議事項」についても採択されました。

大会決議

第29回JA北海道大会のメインテーマである『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた各議案について、組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再認識するとともに、JAグループ北海道が協同の力と総合力をフルに発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みものとする。

また、決議事項の実践内容をグループ内外に発信すること、さらには農業・JA・協同組合の意義や価値を発信することで、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指すものとする。

災害からの復旧・復興と持続可能な北海道農業の確立に向けた特別決議

「北海道命名150年」の節目を迎えた本年、全道各地で大雪・大雨の被害、天候不順による生育や農作業の遅延、台風21号による暴風雨被害などがあり、さらに、9月6日には「胆振東部地震」が発生し、本道の農業や産業・生活に未曾有の被害をもたらした。この数年の間にも、台風、集中豪雨、豪雪等の気象災害が頻発するとともに、予測不能な地震等の自然災害が、経済・社会全体に打撃を与えている。

一方、国内外では、農業・JAに対する現場軽視の改革圧力、さらには、TPP11、日EU・EPAの発効や日米間の新たな物品貿易交渉の開始が迫るなど、国際貿易交渉による国内農業への圧力も絶えない。

顧みると、これまでの北海道農業・JAの歩んできた歴史は、先人のたゆまぬ努力のもと、多方面からの支援も受けつつ、大冷害や

多くの自然災害、社会環境の激変への対応など、幾多の苦難を組織一丸となって克服してきた積み重ねの歴史である。

我々JAグループ北海道は、先人から受け継いだ農業・組織の基盤のもと、協同活動へのさらなる結集を図り、一日も早い災害からの復旧・復興を実現するとともに、持続可能な北海道農業の確立に向けて総力を挙げて取り組み、我が国の食料供給基地としての使命を果たしていく。



旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部 1日研修ならびに女性研修会を開催

旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部では、10月30日(火)に1日研修と11月6日(火)～7日(水)に女性研修会を開催致しました。

1日研修・女性研修とも、本年5月に旧札幌青果株式会社と旧札幌ホクレン青果株式会社の合併により誕生した「札幌みらい市場」を訪問し、市場の方々と各野菜品目の市場要望や販売状況などについて意見交換を行った後、セリ場などの施設を視察しました。

1泊となる女性研修では登別温泉石水亭に宿泊、参加者それぞれにゆっくりとしたひとときで収穫期の作業の疲れを癒して頂き、2日目には千歳市の野菜直売所や鮭のふるさと館を見学し帰路につきました。

旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部では、今後とも会員の技術向上と相互交流を目的に研修会を企画して参りますので、積極的な参加をお願い申し上げます。

また、今回の各研修に参加頂きました会員の皆様、大変お疲れ様でした。



【1日研修】市場職員との意見交換



【女性研修】セリ場視察



【女性研修】市場職員との意見交換

11月10日(土) たいせつ農協東鷹栖年金友の会観楓会



たいせつ農協東鷹栖年金友の会観楓会を定山溪ビューホテルで18名の参加により開催いたしました。

観楓会としては久々の遠出でしたが、出発後すぐにバスの中ではホテルや観劇の話で札幌到着まで盛り上がっていました。

到着後は美味しいランチバイキングや入浴など、観劇開始までの間も楽しく過ごしました。

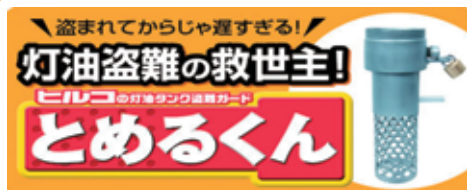
今回のメインである観劇は2時間以上と長い予定でしたが、観劇が始まると演劇、踊り、歌とすばらしい内容であったという間に時間が過ぎ、皆さんも大変満足されておりました。終了後は無事に東鷹栖へ到着いたしました。

来年も楽しい観楓会が開催出来るよう企画いたしますので、多くの方の参加をお待ちしております。

灯油タンクの防犯対策は万全ですか？ 「灯油」が狙われています！！

灯油価格が高騰の時は、灯油タンクを狙った灯油盗難事件が多発する恐れがあります。特に給油口からホース等で素早く大量に抜き取るプロ型盗難は、被害者が盗難に気付くまで日数がかかり、盗難届けが出せない時があります。

現在、販売されている盗難防止装置「とめるくん」は、不在時でも給油が可能な給油口用です。



4,752円

 (税込)

※年式・型式により合わない場合もあります。



■窃盗犯の手口
長いホースで根こそぎ
灯油を盗みます！



給油口に「とめるくん」を設置。
「とめるくん」ならホースが
入っていきません！



窃盗の不安解消！
しかも給油はOK！
お客様が留守でも給油
できるんで助かります！

配管保護カバー

取り扱いしています！！



※写真と商品が異なる場合があります、あらかじめご了承ください。

配管カバー Cタイプ

490L タンク用 **15,120円** (税込)

縦 (mm)	横 (mm)	奥行 (mm)
670~1220	418	187

配管カバー ワイドタイプ横型

490L タンク用 **17,064円** (税込)

縦 (mm)	横 (mm)	奥行 (mm)
803~1215	452	220

年金のお受取りは、

身近で安心、
なんでも相談

全国どこでも
お引出しが便利

手続き
かんたん

なJAバンクで。



ご成約で
プレゼント!

ご紹介で
プレゼント!

年金お受取り・ ご紹介キャンペーン



年金のこと、
JAに
お任せください。

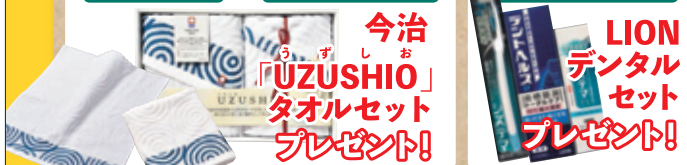
[キャンペーン期間]

平成30年7月2日(月)▶12月28日(金)

対象A

新規ご契約のお客様

- 年金のお受取りをJA口座にご指定
- すでに
または
すでにお受取りの年金をJA口座にご変更
- これから
お受取りになる年金をJA口座にご予約



123のちょリス&ファイターズ
すべて方にクリアファイルプレゼント!

JAバンク北海道は北海道日本ハムファイターズを応援しています。

対象B

ご友人・ご家族などを ご紹介していただけるお客様

対象Aの方をご紹介いただくと

今治「白銀」「紋ごのみ」 フェイスタオル

いずれか
1つ
プレゼント!



*キャンペーンの詳細はJAによって異なりますので、お近くのJAにご確認ください。なお、プレゼント品は数に限りがございます。柄の指定はお受けしかねますので、ご了承ください。

JAで年金のお受取りをすると お得でうれしい特典がもりだくさんです!

全国のJA・コンビニで使えて
断然お得です!

ATM 手数料が0円!

コンビニでもゆうちょ銀行でも、ATMによるご入金、ご出金、残高照会サービスの手数料が無料です。
※指定のATM、時間帯に限りです。

抽選で5,000円相当の
ギフトカタログが当たります!



全国で年間最大184,000人に5,000円相当の「ニッポンの恵み」ギフトカタログが抽選で当たります。

毎年開催!
窓口でプレゼントがもらえます!

年金感謝ウィーク

平成30年は6/11(月)~6/29(金)開催*

キャンペーン期間中、年金お受取りのJA窓口で、うれしいプレゼントがもらえます。

*来年度以降、諸般の事情により中止となる場合がありますのでご了承ください。

お手続き
かんたん!

すでにご利用中の
年金のお受取口座

JAに変更しませんか?

すでに他の金融機関で年金をお受取りになられていても、かんたんな手続きで変更ができます。

年金証書・年金手帳など、
基礎年金番号の
分かるものを
ご持参ください。



本キャンペーンや年金お受取りサービスに関するお問い合わせは、お近くのJA窓口までお願いします

JAバンク 北海道
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

収穫感謝オータムキャンペーン！

第3弾 教育ローンキャンペーン



JA教育ローン

変動金利型
年 **1.50%** 平成30年 11月1日現在

固定金利型
年 **1.40~1.80%**

キャンペーン期間 平成30年11月1日~平成31年2月28日

期間中ご成約いただいた方には
「新米5kg」を
もれなく進呈！
お気軽にご相談下さい！



キャンペーン適用要件

●平成30年11月1日~平成31年2月28日までに申し込んだり、平成30年3月29日までに当JA教育ローンをお借り入れいただける方

※表示金利は、平成30年11月1日時点のもので変動金利についてはキャンペーン期間中、金融情勢等の変化により見直しさせていただく場合があります。

※変動金利の場合はお借入れ後の利率は基準日(4月1日および10月1日)の基準金利により、年2回の見直しを行います。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

※店頭にて返済額の試算を承っております。

※JA教育ローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。

※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引上げさせていただきます。

JA教育ローンの商品概要

- | | |
|-----------|---|
| ご利用いただける方 | ●お借入れ時の年齢が満20歳以上で最終償還時の年齢が満71歳未満の方 |
| お使いみち | ●前年度税込年収が200万円以上ある方(自営業者の方は前年度税引前所得、農業者の方は150万円以上) |
| | ●当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方 |
| お借入金額 | ●就学されるご子弟の教育に関するすべての資金(借入申込日から2か月以内にお支払済の資金を含む。)とし、資金使途の確認可能なもの。
《例》・教育施設へ支払う入学金、授業料、学費
・アパートの家賃等 |
| | ●教育ローンのお借換資金とお借入れに伴う諸費用。 |
| お借入期間 | ●10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内) |
| ご返済方法 | ●最長15年以内(在学期間+9年)以内 |
| 担保・保証人 | ●元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式) |
| | ●担保:不要です。 |
| | ●保証:当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけますので、原則、保証人は不要です。 |

本所:旭川市東鷹栖1条3丁目635番地の58

金融課 TEL0166-57-2311

鷹栖支所:上川郡鷹栖町北1条1丁目1番4号

鷹栖支所管理金融課 TEL0166-87-2121

 **JAたいせつ**

「JAとのお取引はこれから」というお客さまも気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)

理事会からのご報告

平成三十年十月二十六日第九回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、組合員持分譲渡及び脱退届出の承認について

原案どおり承認されました。

二、平成三十年産水稲の天候不順による減収に係る資金対応について

原案どおり承認されました。

監事会からのご報告

平成三十年十月二十六日第八回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、平成三十年度期中自治棚卸監査について

原案どおり承認されました。

二、監事監査規程例・監事会規則例の改正案について

原案どおり承認されました。

三、平成三十一年度監事監査計画案について

原案どおり承認されました。

「たいせつ」のあゆみ

11月

- 11月5日 企画会議
- 11月8日 J A北海道女性大会
- 11月13日 第29回J A北海道大会
- 11月14日 J Aたいせつ役員視察研修
- 11月26日 第10回理事会
- 11月30日 購買部棚卸



たいせつ農産物直売所 12月イベントのお知らせ



8日(土)~
9日(日)

大感謝祭フェア

毎年恒例の「餅つき体験&試食会」
“きなこ餅”と“大根おろし餅”の試食を行うほか、
「お雑煮」「おしるこ」を数量限定で販売！
つきたてのお餅を味わえるのは、この2日間だけですよ！

22日(土)
予定

鷹栖牛フェア

鷹栖町の新田ファームで生まれ育った
こだわりの牛肉(交雑牛)を大特価で販売！
ステーキ、すき焼き、しゃぶしゃぶ等にいかがでしょうか？
柔らかくてジューシーな鷹栖牛を、この機会にぜひご賞味ください！

たいせつ農産物直売所 旭川市東鷹栖1条3丁目635番地の15 ☎57-2141
営業時間/10:00~17:00 定休日/毎週月曜日